

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における水の安全・安心基盤整備計画〕

事後評価シート

平成30年 12月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 12月

計画の名称	鹿児島市における水の安全・安心基盤整備計画		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)	交付対象	鹿児島市
計画の目標			

下水道の整備により、快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全を図り、安全・安心な市民生活の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①下水道処理人口普及率を78.7% (H25)から81.2% (H29)に増加させる。
- ②南部処理場脇田分場における長寿命化計画に基づく改築・更新達成率を 0.0% (H27)から 100.0% (H28)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

①下水道処理人口普及率

下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）

②南部処理場脇田分場における長寿命化計画に基づく改築・更新達成率

改築・更新達成済み設備数（基）／改築・更新必要設備数（基）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)	
78.7%	-	81.2%	当初現況値はH25末 最終目標値はH29末
0.0%	-	100%	最終目標値はH28末

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,343 百万円	A	1,343 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	-
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---------------------------	---

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

- ・鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議
- ・鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議

事後評価の実施時期

・平成30年11月

公表の方法

- ・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
A1-1	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	南部処理区 幹線整備	L=1,120m	鹿児島市						151	
A1-2	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	南部処理区 枝線整備	L=5,455m	鹿児島市						376	
A1-3	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	谷山処理区 枝線整備	L=903m	鹿児島市						74	
A1-4	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	谷山処理場 水処理施設増設	6・7池目（機械・電気設備）	鹿児島市						487	
A1-5	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	南部処理場脇田分場 水処理施設改築	水処理施設改築	鹿児島市						239	
A1-6	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	野呂迫中継ポンプ場 新設	実施設計	鹿児島市						17	
合計													1,343		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・管きょ整備を計画的に行うことによって、快適な生活環境及び公共用水域の水質保全の向上が図られた。 ・長寿命化計画に基づき、施設規模が小さく老朽化した南部処理場脇田分場を撤去し、谷山処理場の増設による機能移転を行うことにより、安定的な水処理、ライフサイクルコストの最小化につながった。 			
II 定量的指標の 達成状況	指標① 下水道処理人口普及率	最終目標値	81.2%	目標値と実績値に差が 出た要因	<p>予定どおり処理区域を拡大したが、既存の処理区域人口の減少が想定を上回ったため。 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理区域の拡大 計画：101ha 実績：105ha ・普及率（下水道を利用できる人口／総人口） 目標値：487,800人 / 600,392人 = 81.2% 実績値：478,500人 / 603,375人 = 79.3%
		実績値	79.3%		
	指標② 南部処理場脇田分場における長寿命 化計画に基づく改築・更新達成率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が 出た要因	
		実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					